

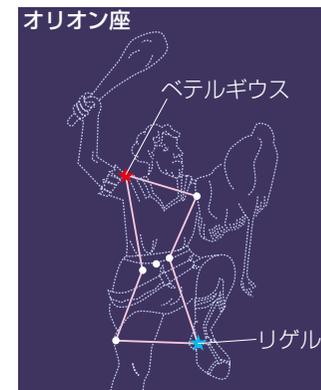


オリオン座



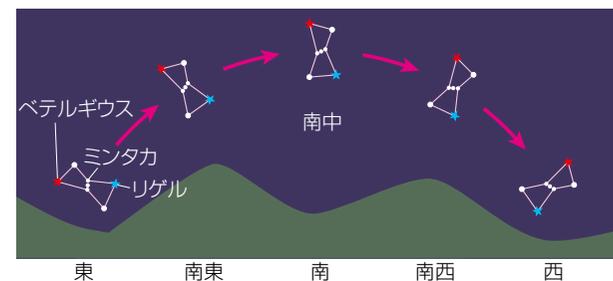
オリオン座は(1)に見られる星座です。(2)と(3)の2つの1等星をふくみます。中心部分には星が(4)並んでおり、「オリオン座の三つ星」とよばれます。

オリオン座が南の空に見えるとき、左上に見えるのが(5)にかがやく(6)で、右下に見えるのが(7)にかがやく(8)です。ベテルギウスは(9)をつくる星の一つです。



オリオン座の動き

オリオン座の三つ星は、東の空からのぼるときには縦に並んでおり、西にしずむときにはほぼ横になります。



オリオン座の三つ星のうちミンタカとよばれる星は、ほぼ真東からのぼり、ほぼ真西へしずみます。これは、春分の日や秋分の日たいよう うごきの太陽の動きと同じです。ミンタカが地平線より上にあるのは(10)です。ミンタカよりも北よりからのぼるベテルギウスが地平線より上にある時間はミンタカよりも(11)、南よりからのぼるリゲルはミンタカよりも(12)なります。

(注意) 本ドリルでは入試問題を掲載していません。

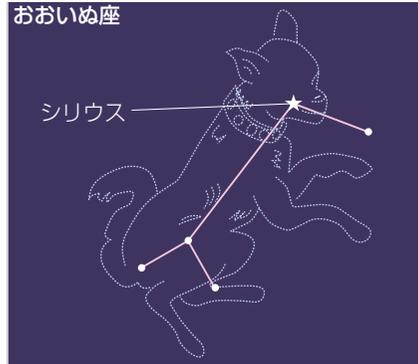
おおいぬ座



おおいぬ座は、(13)に見られる星座です。(14)をつくる星の一つである一等星の(15)をふくみます。

シリウスは、全天で最も明るい^{マイナス}1.5等級の星で、(16)にかがやいています。

おおいぬ座



こいぬ座



こいぬ座は、(17)に見られる星座です。(18)をつくる星の一つである一等星の(19)をふくみます。

プロキオンは、(20)にかがやいています。

こいぬ座



ふたご座



ふたご座は、(21)に見られる星座です。一等星の(22)と、二等星のカストルをふくみます。

ポルックスは、(23)にかがやいています。

ふたご座



おうし座



おうし座は、(24)に見られる星座です。一等星の(25)をふくみます。

アルデバランは、(26)にかがやいています。

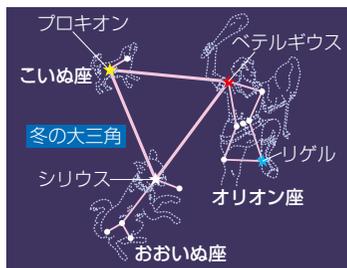
おうし座



冬の大三角



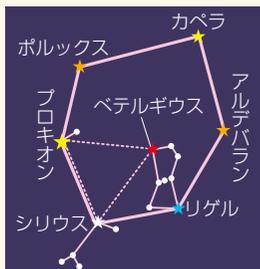
(27)の空に見える、(28)の1等星(29)、(30)の1等星(31)、(32)の1等星(33)が形づくる三角形を、(34)といいます。ほぼ正三角形をしています。



オリオン座には1等星が2つあるのだ。冬の大三角を形づくるのは、赤色をしたベテルギウスのほうだということをしっかり覚えておくのだぞ。リゲルとまちがえないように注意が必要なのだ。

+ プラスワン

真冬の夜空には、多くの1等星がかがやいています。右のような、冬の大三角のベテルギウスを中心として、シリウスとプロキオンをふくむ大きな六角形は冬の六角形、または冬のダイヤモンドなどとよばれます。



+ プラスワン

夏の大三角、冬の大三角のほかにも、目立つ星で形づくられた図形があります。春の大三角は、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカの2つの1等星と、しし座のデネボラという2等星からなります。秋の四辺形は、ペガスス座の3つの星と、アンドロメダ座の1つの星からなります。



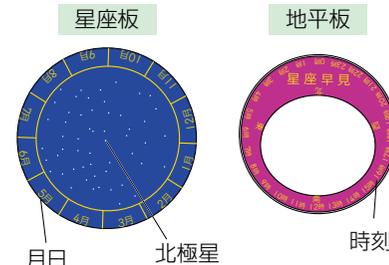
星座早見



星座早見は、星空の動きや、見たい日時(てがる しら)の星空(どう)のようすを手軽に調べられる道具(どうぐ)です。星座早見盤(せいざはやみばん)ともよばれます。

星座早見のつくり

星座早見は、星座板(せいざばん)の上に地平板(ちへいばん)が重なってできています。ふつう、2枚の板(まい)の中心(かいてん)がとめられていて、回転(かいてん)するようになっています。



北半球用(きたはんきゅうよう)の星座板(せいざばん)の中心(かいてん)には(35)がかかれており、まわりに北半球(きたはんきゅう)で観測(かんそく)できる星(せい)や星座(せいざ)がえがかれています。そして、はしには時計(とけい)回りに1年(いちねん)間の月日(げつじつ)が書かれています。

地平板(ちへいばん)には、反時計(はんとけい)回りに24時制(じせい)で時刻(じこく)が書かれています。また、星座早見(せいざはやみ)は上(うへ)を向いて使うため、北(きた)を上(うへ)に向けたとき、右(みぎ)に(36)、左(ひだり)に(37)と書いてあります。

星座早見の使い方

ある日時(にちじ)の空(そら)のようすを知りたいとき、星座早見(せいざはやみ)は次のよう(つぎ)に使(つか)います。

- 1 星座板(せいざばん)の月日(げつじつ)と地平板(ちへいばん)の時刻(じこく)を観測時刻(かんそくじこく)に合わせます。
- 2 観測したい方位(ほうい)を向き、地平板(ちへいばん)の観測したい方位(ほうい)が(38)になるようにして星座早見(せいざはやみ)を持ちます。

2月14日の20時に合わせたようす



※15日(ごあい)の場合は、14日(じゅうよっぴ)と16日(じゅうろくにん)の間(ま)と時刻(じこく)を合わせます。



北(きた)の空(そら)を見るとき



東(ひだり)の空(そら)を見るとき

